【実務者向けプログラム】

令和６年度（11月～12月開催）

ERABサイバーセキュリティトレーニング
ご案内資料

※ERAB：Energy Resource Aggregation Business

令和６年10月

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティセンター

IPA Better Life with IT

開催概要

VPPの社会実装を見据えた、ERABにおけるサイバーセキュリティ対策

※VPP ： Virtual Power Plant

対象業界・対象者

ERAB事業者（AC、RA）等において
- 対策を検討し、立案・実施する実務者の方
- 対策の導入・実施を判断する責任者の方

※AC ： Aggregation Coordinator
RA：Resource Aggregator

➢ **ITパスポート試験合格者相当の知識、およびOTの基礎知識を有していることを推奨します。**

日程・実施形式

日程	実施形式	
2024年11月25日（月） ～ 2024年12月9日（月）	オンライン実施	e-Learning システムを用いたオンデマンド配信
2024年12月11日（水） ～ 2024年12月12日（木）	集合実施	東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 北ウィング20階（N20F）

受講料・定員

- **受講料 ： 20万円（税込）** ※受講料には、交通費・食事代・通信費等は含みません。
- **定員 ： 40名** ※**最少催行人数10名**。定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。

本トレーニングの位置付け

本トレーニングは、「ERABサイバーセキュリティガイドライン」においてERAB事業者に求められるサイバーセキュリティ対策に対応する教育プログラムです。

3.6 ERABシステムにおけるサイバーセキュリティ対策 【勧告】ERABに参画する各事業者は、ERABシステムでは、以下の手順を踏むこと	
Step1	対象とするIoT 製品やサービスのシステムの全体構成及び責任分界点を明確化すること
Step2	システムにおいて、保護すべき情報・機能・資産を明確化すること
Step3	保護すべき情報・機能・資産に対して、想定される脅威を明確化すること
Step4	脅威に対抗する対策の候補（ベストプラクティス）を明確化すること
Step5	どの対策を実装するか、脅威レベルや被害レベル、コスト等を考慮して選定すること
Step6	第三者による監査（認証を含む）や**教育プログラム**等によって勧告指定項目を中心にその実装を検証すること
Step7	事故発生時の対応方法を設計・運用及び訓練すること

（出典）ERABに関するサイバーセキュリティガイドライン Ver2.0（経済産業省 資源エネルギー庁 ／ 独立行政法人情報処理推進機構）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/advanced_systems/vpp_dr/files/20171129002-1.pdf

本トレーニングの内容（予定）

オンライン実施

- **ガイドライン編**
  - 電力分野のサイバーセキュリティ脅威に関する現況の解説
  - 電力分野に関連するサイバーセキュリティ規制・ガイドライン類の概要解説
  - ERABサイバーセキュリティガイドラインの解説
  - サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク（CPSF）の解説
  - 脅威や脆弱性を検討・評価する手法の解説
- **リスク分析編①**
  - CCRC技術参考報告書の解説
  - ERABシステムのリスク分析概要解説
  - ERABシステムにおける対策選定手法の解説
  - ERABシステムに想定されるリスクシナリオ（ユースケース）

集合実施

- **模擬プラント編**
  - リソース関連設備を用いたERABシステムのリスクの体感・解説
  - 模擬プラントを用いたERABシステムのリスクの体感・解説
- **リスク分析編②**
  - ユースケースに基づくリスク分析の実演
  - 詳細対策要件の検討（グループワーク）

スケジュール：オンライン実施（予定）

- 日程内の任意の日時に受講可能です。
- 各プログラムの動画コンテンツ終了後に、確認テストを実施します。
- 所要時間は動画コンテンツを視聴する際の目安であり、確認テストに要する時間は除きます。

日程	プログラム	所要時間（目安）
2024年 11月25日(月) ～ 12月9日(月)	**【ガイドライン編】**	
	電力分野のサイバーセキュリティ脅威に関する現況の解説	20～30分
	電力分野に関連するサイバーセキュリティ規制・ガイドライン類の概要解説	20～30分
	ERABサイバーセキュリティガイドラインの解説	20～30分
	サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク（CPSF）の解説	20～30分
	脅威や脆弱性を検討・評価する手法の解説(※) (※)IPAが一般公開している「制御システムのセキュリティリスク分析セミナー」の動画を一部使用します。	60分
	【リスク分析編①】	
	CCRC技術参考報告書の解説	60分
	ERABシステムのリスク分析概要	20～30分
	ERABシステムにおける対策選定手法の解説	20～30分
	ERABシステムに想定されるリスクシナリオ（ユースケース）	20～30分

スケジュール：集合実施（予定）

- 実施場所は、秋葉原UDX N20F（https://udx.jp/access/）です。
- 適宜、途中休憩をはさみます。

日程	スケジュール	プログラム
1日目 12月11日（水）	13：30～13：45	**ブリーフィング**
	13：45～15：45	**集中講義** - 最新情報提供 - オンデマンド配信内容に関する質疑 - ユースケースに基づくリスク分析の実演
	15：45～17：45	**模擬プラント編（1）** - 模擬環境を用いたERABシステムのリスクの体感・解説
	17：45～18：00	**クロージング**
2日目 12月12日（木）	9：30～ 9：45	**ブリーフィング**
	9：45～11：45	**模擬プラント編（2）** - 模擬環境を用いたERABシステムのリスクの体感・解説
	11：45～13：00	**昼食休憩**
	13：00～14：30	**模擬プラント編（3）** - 模擬プラント編のシナリオ解説と対策
	14：30～17：30	**リスク分析編②** – グループワーク – グループワークの発表
	17：30～18：00	**質疑・クロージング**

受講・申込みにあたっての留意事項

- オンデマンド配信については、「J-Stream ミテシル」（https://www.learning-innovation.go.jp/db/ed0080/）を利用予定です。
  - 視聴のための機材（PC等）及び通信環境（通信速度2.0Mbps以上推奨）につきましては、受講者にてご準備願います。
- 受講者ご本人以外の参加・共有、及びトレーニングの録画はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。
- 本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には**秘密保持誓約書にご署名**いただきます。
- 全ての日程を受講し、かつ、内容を理解したと確認された方に**受講証明書**を発行します。
  - 受講証明書には、受講者の氏名、受講者の所属組織名、及び一意な受講証番号を記載します。所属組織名の記載が不要の方は、受講申込書の「受講証明書への所属組織名記載」の欄において、「希望しない」をご選択ください。

募集期間とお申し込み方法

募集期間

受講申込は、**2024年11月15日（金）**までといたします。
※募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項をご記入いただき、**メールにてPDFをご送付ください。**
※お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

お申し込みURL： https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/erab/2024.html

原則として、納入後の受講料は、キャンセルされる場合でも返金は致しかねますので予めご了承ください。
受講料請求書は押印省略で発行します。押印希望の方は、お申込み時にご連絡ください。

【個人情報の取り扱いについて】
弊機構は、本申込のためにご提出頂いた個人情報の適切な管理に努めております。ご提供頂いた個人情報は、本トレーニングを提供するために必要な範囲（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させて頂きます。個人情報保護についての詳細は下記のページをご参照ください。
https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html

お問い合わせ先

電話： 03-5978-7554（直通）（受付時間）平日9:30-18:00
メールアドレス： coe-promo-ap@ipa.go.jp
担当者： お申込みに関すること： 鈴木/奥山　演習内容に関すること：伊藤/岩男